

1_石油ができるまで

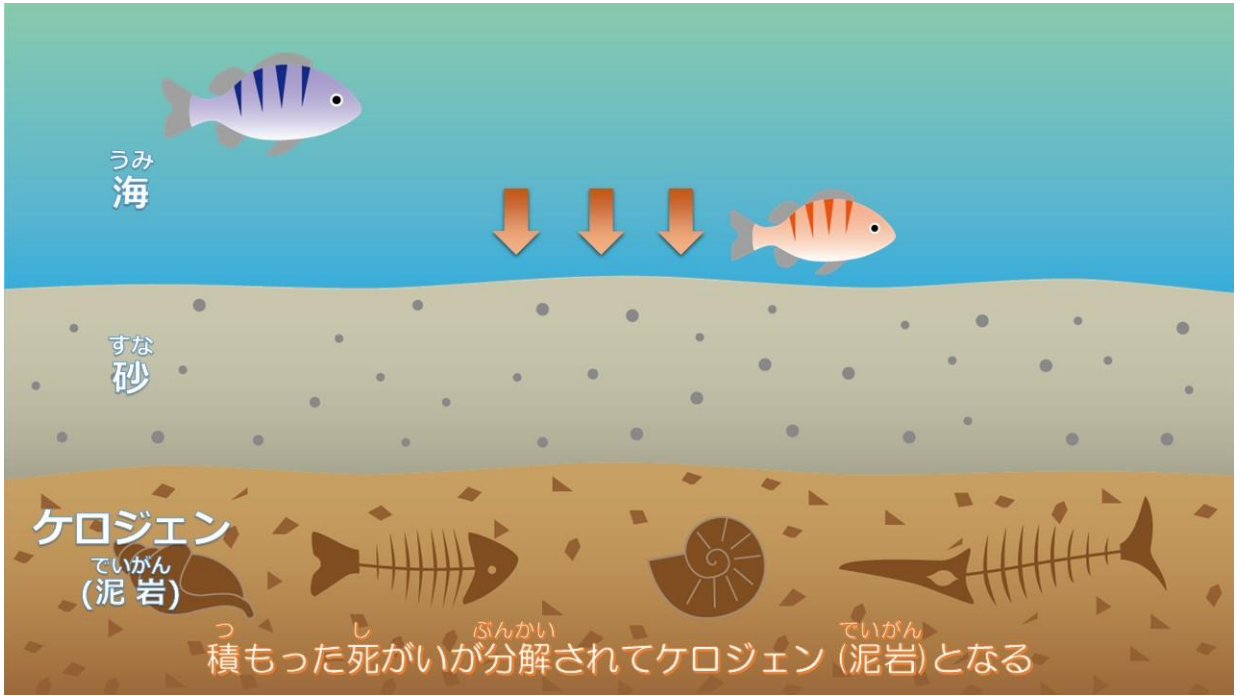


石油はどうやってできたのか、僕が説明するよ！

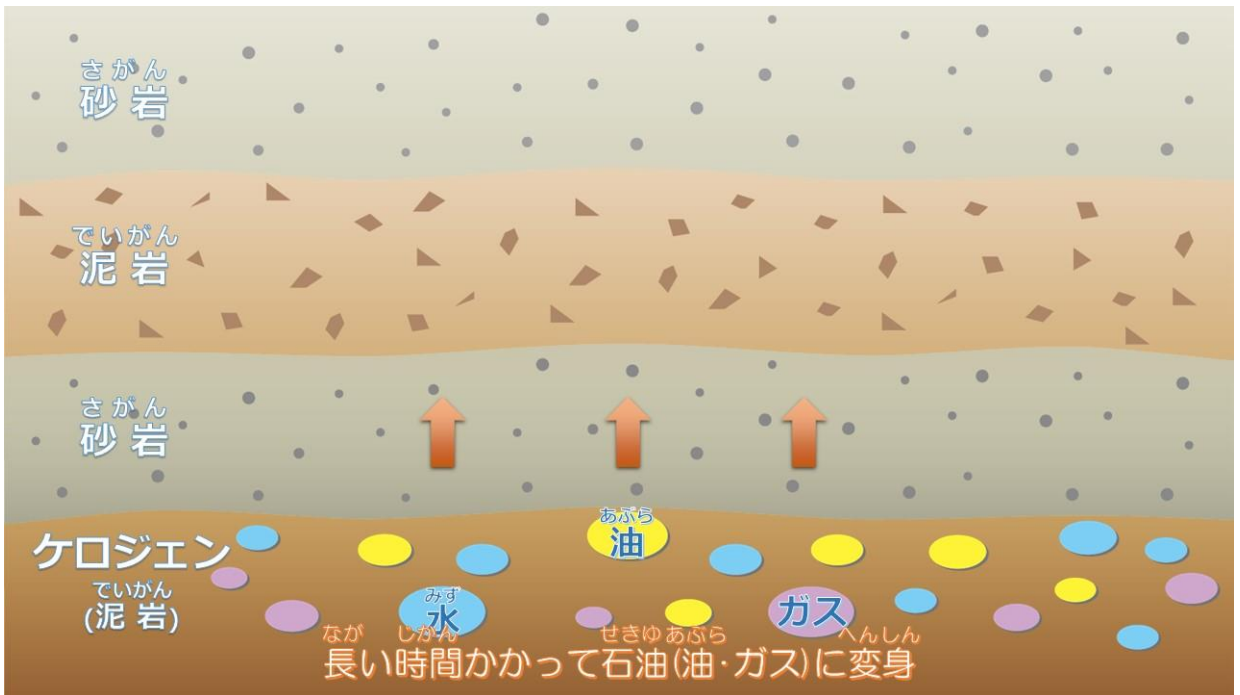


太古の時代、陸上植物や海にいた生物の死骸は、土砂と共に湖底や海底に沈み堆積していききました。

1_石油ができるまで

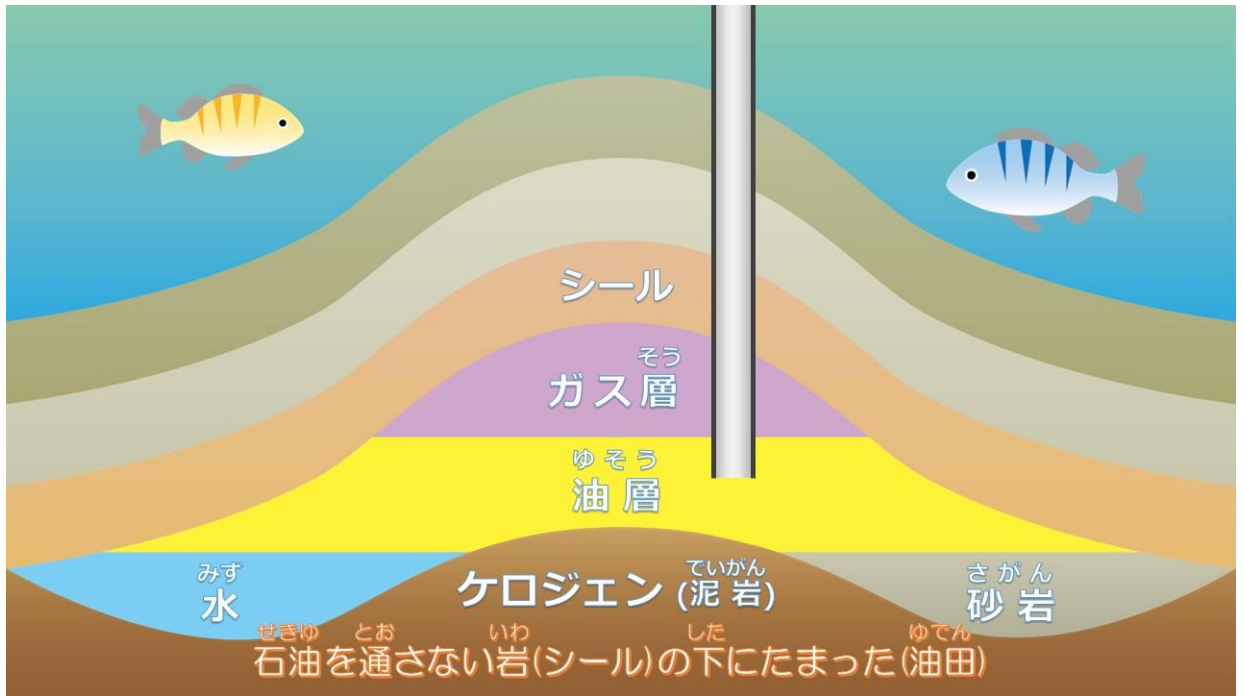


死骸が積もった層の上には何重もの層が重なり、地層が形成されます。死骸はやがて地中のバクテリアによって分解され、「メタンガス」が発生すると共に、「ケロジェン」という石油の素にかわっていきます。



深く埋没したケロジェンは、地中ふかくなるにつれて上昇する周囲の温度と圧力によって油やガスに科学分解されます。生成した油は水よりも軽いため、岩石中の隙間をすり抜けながら上の地層へ長い時間をかけてゆっくり移動していきます。

1_石油ができるまで



石油はシールと呼ばれるち密で隙間の少ない帽岩や蒸発岩の地層の下の貯留岩と呼ばれる隙間の多い地層に溜まります。

石油の溜まっている地層を油層といい、ガスが発生した場合には、油層の上にガス層が形成されます。

油層を掘り当てれば、石油が採れることになるのです。